

デジタル化に向けた次の一手（第8回）

御社の経理業務、滞っていませんか？（後編）

2024.02.29

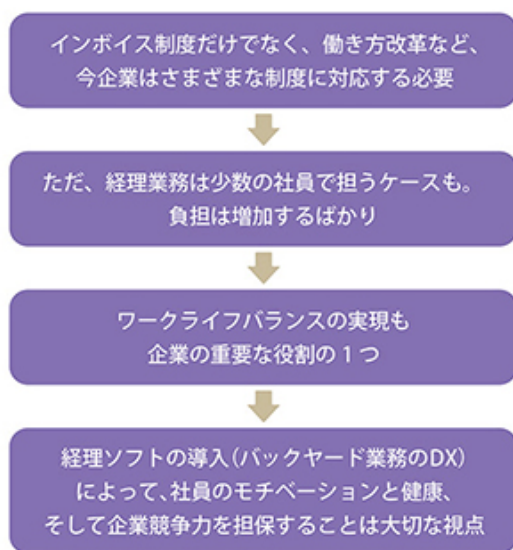
インボイス制度から働き方改革まで制度への対応が重荷に



経理部門に関連するトピックとしては、インボイス制度と改正電子帳簿保存法への対応が大きな話題だった。システムやツールを導入したり、業務フローを改定したりと、対応や移行のための負荷が少なからず発生した。さらに、定常的に新しい業務として安定した運用を行うためにも負荷がかかる。経理職員の負担は増え、人員が増えない環境下では労働時間が延びてしまう。

一方で働き方改革の推進も求められる。時間外労働の上限規制が中小企業にも施行されてから早くも数年が経過した。特に経理部門などのバックオフィス部門は、毎月の締め日や、年末調整、決算などのタイミングに繁忙期があり、長時間の残業で業務が成り立っていた企業も少なくない。

こうした状況から、ワークライフバランスを保てるような働き方への変化が求められるようになってきた。歴史的な人手不足、採用難の時代であり、いわゆる「ブラック」な働き方を強要するような実態が明らかになると、採用にも大きなダメージを与える。働きやすい環境も、企業による従業員への提供価値の1つとして強く認識しないとイケない。



バックオフィス業務の変革に経理のシステム化が有効… 続きを読む